



特定非営利活動法人日本防災士会 富山県支部

富山県防災士会会報

第2号

平成24年1月25日

発行 富山県防災士会

電話 090-8967-2617(事務局:中川)

内容豊富だった例会 平成23年度第1回例会開催

7月24日(日)午後1時30分より、高岡市福岡防災センターにおいて平成23年度第1回例会を開催しました。藤原防災士(高岡市危機管理室)の案内で防災センターの施設見学をした後、23年度事業のテーマごとの具体化について事務局長から報告がありました。続いて「東日本大震災から学ぶ」…高岡市総務課危機管理室編集の講演用データの内容紹介(三井副会長)、情報交換のための掲示板(日本防災士会 HP)の有効活用…掲示板への投稿方法の取得(嶋倉事務局次長)等についての勉強会を行ないました。



情報・意見交換では、县市町村の総合防災訓練の日程について、日本防災士会総会報告、富山市の出前講座の実施状況が報告されました。

自由歓談では、子供に対する防災教育の重要性や、子供の参加も念頭においた防災講座の必要性の指摘がありました。あれも、これもと多少欲張りの例会だった感がありましたが、会員の協力のもとに富山県防災士会の23年度の活動が確実に進行していると実感できる内容であったと思います。

スキルアップできたかな

平成23年度研修会開催

平成23年度の事業計画、会員のスキルアップの一環として11月26日(土)17:00~18:15の間、富山駅前CICビル3F市民交流館において、国土交通省 富山河川国道事務所 副所長 石川俊之氏をお迎えして『災害に関する最近の話題』と題して講話をして頂きました。石川氏は小矢部市出身の53歳、「たたき上げの土木屋」としての豊富な経験と準備資料をもとに最近の災害について詳しくお話しされました。



学校での避難所生活体験を支援 舟橋小学校防災教室

10月7日(金)18:30~8日(日)10:20まで小学生と保護者の50名余が舟橋小学校体育館において避難所生活を体験しました。これは同小学校育成会が電気の無い中での生活や非常食での生活を体験させ、被災者の苦労を教えたいと企画されたものです。8日の8:40より防災士による防災教室を開きました。



まず、参加防災士の紹介から入り、荻生防災士の感情あふれる紙芝居『稲村の火』、小杉会長による『こんな時どうする〇×クイズ』、新聞紙で作るコップと皿、最後に村崎防災士による保

護者を対象とした舟橋村ハザードマップの説明等60分の予定を40分オーバーしての終了となりました。

今後、子供を対象とした防災教室が増えてくると思われませんが、教訓を語り継ぐ、子供達に考えさせる、参加した子供達を飽きさせない工夫、限られた時間内で行うこと等の難しさを痛感しました。



災害ボランティアコーディネーター養成研修を修了

「広げようボランティアの輪」のスローガンのもと、第23回富山県ボランティア・NPO大会の祭典が10月28日(金)14:00から富山県総合福祉センターで行われました。はじめに県内各方面のボランティアで功労のあった個人・団体に県知事賞等の表彰があったのち、災害ボランティアコーディネーター養成研修を修了された10数名の方に修了証が交付されました。その中に富山県防災士会会員の次の3名の方が含まれております。

- 富山市 黒畑喜昭 防災士
- 立山町 荻生喜美恵 防災士
- 富山市 関 恵一 防災士

式典の最後に富山県防災士会小杉邦夫会長が代表して大会アピールの採択に先立ち、アピールの朗読をされました。

今年度は上市町へも参加 富山県総合防災訓練

台風12号の影響で延期(9月4日予定)されていた「平成23年度富山県総合防災訓練」は、11月27日(日)初霜で冷え込みの厳しい南砺市城端中学校グラウンドをメイン会場として小矢部市3会場、南砺市4会場に津波を想定した氷見市を加え合計8会場で約110団体、5,500名以上が参加して盛大に実施されました。

富山県防災士会は12名が参加して、城端中学校メイン会場において今年度作成したのぼり旗4本を掲揚し、活断層地図及び災害写真パネルの展示、家具の転倒防止及び津波対策のDVD放映、家具転倒防止模型及び展示固定金具の説明、簡易トイレ及びスリッパの作成展示及び非常食の試食等を行いました。



パネル展示においては「活断層」、家具の固定展示においては「間柱の探し方」「戸棚の固定(ラッチ)」、への関心が特に高く、非常食のレトルト試食はいつもながら人気があり、会員が持ち寄った「乾パン」「カップ味噌汁」「カップラーメン」はあっという間に品切れ状態になりました。来年度はもう少しグレードアップした内容にしたいと思っています。

富山市総合防災訓練

富山市総合防災訓練は10月1日(土)、大沢野総合運動公園・アイザックススポーツドームで行われました。

前日まで降り続いた雨は上がってはいたものの、設置されたテントの中は長靴無しでは歩けないほどの「ぬかるみ」という悪条件でした。それでも参加した14名の防災士会員は、災害パネル、家具転倒防止の模型、DVD、試食用非常食の準備等手際よく準備し8:30の訓練開始を待ちました。



富山市の森市長から富山県防災士会に対して激励があり、会員とも親しく懇談されました。悪条件の中ではありますが、一般市民の方が防災士からの説明を真剣に聞いておられました。

高岡市総合防災訓練

高岡市総合防災訓練は8月28日(日)芳野中校区(二塚小校区、下関小校区、野村小校区)の3会場で時間をずらしながら順次行われました。3会場とも、避難所開設(図上)訓練、避難所運営(クロスロードゲーム)訓練を実施しました。

富山県防災士会は3会場に各2名の防災士を配置し、この訓練の進行役を務めました。

また、野村会場では防災パネルによる啓発活動を行いました。訓練には計8名の防災士が参加しました。



避難所開設(図上)訓練

野村会場のパネル展示



上市町総合防災訓練

上市町総合防災訓練は、10月23日(日)白荻西部小学校グラウンドと体育館1Fピロティ内を主会場として行われました。

本訓練への参加は、富山県自主防災アドバイザーであり、富山県防災士会準会員の北川 勝氏の要請に基づくもので、今回が初めてでしたが来年も継続し参加したいと思っています。



「みんなの村はみんなで守る」

荻生防災士のお孫さんである立山小学校3年生の**荻生空太君**は夏休みの自由研究として「みんなの村はみんなを守る」を研究し、見事「**優秀賞**」を獲得しました。



研究の動機

自分の住んでいる岩峯野を歩き防災マップを作る。

地震が起きたら家の中がどうなるかを予想し、図にまとめる。

すばらしい！ OO君に拍手・・・

皆さんにも研究して頂きたい！！

富山県防災士会

お知らせ

富山県防災士会会員 (H24. 1. 1 現在)

正会員 42 名、準会員 2 名、合計 44 名
(H23. 4. 1 時点の会員は 34 名でした)

防災出前講座特集

富山市 若竹町第一・第二自主防災会

9月1日(木)10:05~11:15「防災の日」富山市若竹町公民館において小杉・中川両防災士による防災講座が実施されました。

1 パワーポイントを使用して

- ①防災の日が関東大震災を忘れないように制定されたこと
- ②東日本大震災の被害映像及び防災士の現地におけるボランティア活動
- ③富山市洪水ハザードマップでの若竹町周辺の想定浸水深と避難所の選定



④新潟豪雨災害(日中発生)と兵庫県佐用町の水害(夜間発生)の事例からの災害時の避難誘導の教訓

2 ダンボールを使用したのトイレの製作実演

参加者は災害時要援護者の方を含む66名でした。

若竹町は、昨年笹川防災士がDIGを実施した地域で、ささえあいネットワークの要援護者及びその支援者を地図上に記入し公民館に掲示するなど、防災会としての活動が目に見えるように工夫されていました。

講座の様子はNHKのローカルニュースで報道されました。

富山市 藤の木園町自主防災会

9月25日(日)8:15~ 富山市藤の木園町の避難訓練の中で笹川防災士が下記のような実地指導をしました。

- ① 避難時の服装・注意事項及び非常持出品
- ② 怪我人を運ぶ担架の作り方2種(毛布、Tシャツ)
- ③ 止血法(三角巾・風呂敷)の実習

藤木園町は6:50分に地震発生を想定して避難訓練を開始し、事前に配布された3色の短冊(白:避難完了、黄:怪我人が居る、赤:避難出来ない要援護者)を地震直後に玄関ドアに貼り、公園へ一時避難し公園や地下道の除草清掃をするという地域全員が参加する方式を取っておられました。



小杉会長、黒畑副会長も駆けつけてくれました。

富山市 婦中町宮川自主防災会

9月25日(日) 宮川公民館において「災害に備える」と題して中川防災士が災害全般の講話を行いました。

東日本大震災後、現地でのボランティア活動から得た内容にも触れ、そこから学ぶべき教訓、富山県で災害が発生した場合にどう対処すればよいか、また、洪水時の避難の仕方、家具の転倒防止策、避難方法と対策等幅広く解説されました。

富山市消防署からは「地震だ！そのときどうする」のDVDが上映され、担架の作り方等の実習がありました。

当日、藤木園町で防災講座を担当されていた笹川防災士も駆けつけて、熱心にメモを取っておられました。



富山市 婦中町朝日地区防災会連絡協議会

10月18日(火) 19:30~ 婦中町朝日地区の自主防災会で組織されている朝日地区防災会連絡協議会において関防災士が防災講座を行いました。

2度にわたる災害救援ボランティア(岩手県野田村及び陸前高田市)に参加され、被災地での体験と映像をもとに、日頃の心構えやどう備えるべきかを多方面にわかりやすく解説されました。

朝日地区は井田川及び山田川に沿った町並みで洪水時の想定浸水深のデータをもとに、どう避難すべきか。そしてこの町は呉羽山断層帯の真上にあることから断層について詳しく解説され、「地域の特性を十分に理解し、危険のサインを見逃さないようアンテナを高くしていることが大切」と力説されました。

また、災害時の救急救命法、心肺蘇生法及び止血法等人体模型を使つての熱弁に参加者一同すっかり引き込まれていました。村崎防災士も同席されました。



◎ 第2回例会実施のお知らせ

- ・ 日時： 2月11日(土) 13:30~15:30
- ・ 場所： 高岡市福岡防災センター
- ・ 内容： 第I部 「講話」 山本修一氏
東日本大震災のボランティア活動の教訓
- 第II部 「救急救命訓練」 関防災士

◎ 平成24年度通常総会のお知らせ

- ・ 日時： 3月24日(土) 15:00~17:30
- ・ 場所： ウイング・ウイング高岡
- ・ 内容： 第I部 講演「学校における防災教育と防災士の関わり」 講師：大西宏治氏(富山大学准教授)
- 第II部 通常総会 (終了後 懇親会有り)

富山市 呉羽町住吉地区防災会

10月28日(金) 19:00～ 呉羽町の住吉地区で「災害に備えて」と題して大坪・石黒両防災士が防災講話を実施しました。



大坪防災士は、東日本大震災に触れ、住吉地区の公民館は標高9mであること、呉羽駅では5m、一次避難場所が35mあることを紹介しながら東日本大震災クラスの津波を想定した場合

にはすばやく高台に避難しなければならぬことや地震に対する備えとして耐震化・家具の固定は是非必要であること、非常持出品や災害伝言ダイヤルのかけ方など日頃の心構えについて解説されました。



石黒防災士は、「119番への電話のかけ方」について、事例を交えながら分かりやすく解説されました。

富山市 婦中町田島防災会

11月6日(日) 13:30～15:00 婦中町田島公民館で「災害に備えて」と題して村崎防災士が防災講話を実施しました。

参加者は田島地区の老若男女48名で42インチのテレビ画面に様々な写真・図・グラフを駆使され次の内容について90分間たっぷり使って分かりやすく解説されました。

- ① 身近でできる防災対策10項目
「近助の精神」「できるところから即実行」を力説
- ② 富山県の災害事例
- ③ 地震について
- ④ 家具転倒防止ビデオ
- ⑤ 間柱センサー実演
- ⑥ 食器の滑り止め実演
- ⑦ 耐震診断の事例紹介
- ⑧ ハザードマップによる田島地区の留意事項
- ⑨ 非常持ち出し品
- ⑩ 自主防災会のあり方

当日はケーブルテレビの取材もありました。



富山市 羽根自主防災会

11月13日(日) 富山市羽根公民館において「水害対策と避難方法」と題して三井防災士が防災講話を実施しました。

当地区は、これまでに豪雨による神通川・井田川の河川増水等で度々浸水被害を経験している地区であるうえに呉羽山断層帯が地区を横断していることもあり、平成19年度に自主防災組織を設立されて以降、毎年防災訓練・研究会を開催し、救急救命法、消火訓練、炊き出し、要援護者避難訓練、緊急連絡系統訓練など多様に訓練内容を企画・工夫し熱心に防災活動に取り込まれている所です。

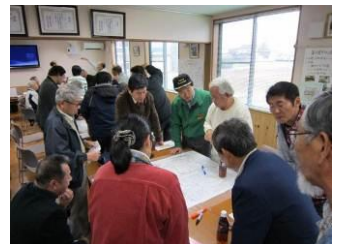
その事もあり、訓練は

第1部：講話

- ① 地震災害、水害対策と避難方法
- ② 災害時の通信手段（固定電話、携帯電話）
- ③ 砺波地区（三井防災士の地元）の自主防災訓練の活動事例紹介

第2部：DIG(災害図上訓練)

- ① 羽根地区のMAPを使用した図上訓練
- ② 危険箇所、避難ルート



参加者は43名で、地区の防災意識が高いこともあり講座は熱心に聞き入り、DIGにおいては活発にディスカッションされ90分を超えてしまうほどの盛況でした。

事務局から

◎ 日本防災士会掲示板への投稿のお願い

情報交換の為に様々な記事の投稿をお願いします。出前講座された方、投稿をお願いします。

◎ 出前講座によるスキルアップ

他の防災士の講座を見学しスキルアップを図りましょう。少しでも多くの方、一緒に聞き、また手伝ってください。

◎ 日本防災士会アンケートの提出

「東日本大震災に関するアンケート・支援活動報告」を忘れずに提出しましょう。

平成23年度の講座の実施状況 (1/24現在)

- ① 富山市「出前講座」：46回(予定5回含む)
- ② その他講座等：33回(予定2回・県アドバイザー活動含む)